



秋田大学医学部附属病院 専門・認定看護師会

ダイヤモンド通信

第53号 令和6年8月25日発行



私達のコツをお伝えします！



専門看護師や認定看護師に興味はあるものの、受験に向けての心構えや費用のこと・仕事や家庭との両立の難しさ等、さまざまな疑問や不安があり、躊躇している方もいるかもしれません。そこで今回は、専門・認定看護師会のメンバー3名に聞いた、資格取得までの過程やコツ・資格を活かして長く働き続けられる秘訣をご紹介します。一步を踏み出す勇気の参考にしてください！



皮膚排泄ケア
認定看護師
Aさん

資格取得に向けた、仕事と家庭との両立のコツ

もともと消化器外科病棟に勤務していてストーマケア等にも携わることが多く、褥瘡委員も担っていました。当時は皮膚・排泄ケア認定看護師は当院に1名しか在籍しておらず、大変だと感じていたこともあり、認定看護師になることを決意しました。資格取得を志す上で一番の大きかったのは、師長さんからの後押しがあったことです。上司からの後押しはとても支えになりました。

認定教育課程は県外でした。特殊なケースかもしれませんが私の場合は一時的に家族一緒に県外へ転居し、家族も県外で別の資格を取得しました。子育てと教育課程の両立は、大変でしたが、家族がいたからこそ乗り越えられたと思っています。

現在は資格を取得し専門領域で活動できることがとても楽しいです。今後、認定看護師を目指すスタッフが増えることで、活動できる場も広がります。ぜひ皆さんも資格を取得して、一緒に認定看護師として頑張りましょう！



がん看護
専門看護師
Bさん

長く続けられるコツ

がん看護専門看護師の資格を取得して11年目になります。

専門看護師として働き続けられている理由は、組織や周囲の環境のおかげだと思っています。私は当院で専門看護師第一号でしたので、看護部が専門看護師の役割を理解し、専門性を発揮できる部署に配置し、私の話に耳を傾け、組織全体にも働きかけ背中を押してくれたことが大きかったと振り返ります。管理者から期待されているという感覚は、自己実現においてモチベーションとなりました(あまりプレッシャーを感じない鈍感力のおかげです笑)。また、同僚や認定看護師などの仲間と一緒に患者さん・家族へのケアについて話し合ったり、理想を語ったりすることも大きな原動力でした。

今は管理者の役割も得て専門看護師としても第2のフェーズに入っています。悩みや葛藤もありますが、後輩やスタッフの活躍への喜びや、よりよくするための仕組みづくりや新たなチャレンジが今のモチベーションとなっています。これまで出会ったたくさんの患者さんたちから学んだことを、次の患者さんたちへ還元したり活かしていくという使命が、看護師をこれからも続けていくための私の秘訣です。



急性・重症
専門看護師
Cさん

大学院受験や学習内容のこと

専門看護師になるためには、専門領域の学習が必要です。急性・重症患者看護の分野では、危機理論やニード論、ストレスコーピング論などの中範囲理論の学習を行いました。また、その領域で一般的に使用されているガイドラインやケアバンドル、注目されている最新の事象などについても理解している必要があると思います。

大学院受験では、英語と研究が必須となっている学校が多いです。大学院では英論文が読める能力が求められますので、リーディング力を高める学習や臨床の出来事にアンテナをはり、研究的な視点で物事を見ると良いと思います。過去問を閲覧できる学校もありますので、入試対策は直接学校に問い合わせたり、院生から情報をもらったりすると良いと思います。

大学院での学習は「資料を作ってプレゼンする」という方法が一般的です。資料を探し読み込む能力、資料を作成する能力、忙しくても対応できる精神力や忍耐力が必要でした。入学前からそれらの能力が高められるよう意識していればよかったと思っています。いきなり大学院に入学するのは抵抗がある方は、科目等履修生からチャレンジしてみる方法もあります。

費用のこと

専門看護師になるためには38単位取得する必要があります。私が修了した学校は2年で卒業するには学生専従、3年で卒業する人は働きながらも可というシステムでした。入学金や授業料の他に、図書代や文献代、学会参加費、自己研鑽のための学習費、研究のための費用など、思っていた以上に出費がかさみました。お金は十分に準備した方が良いと思います。



ここをクリック

日本看護協会のホームページにも専門看護師や認定看護師に関する情報が掲載されていますので、そちらも参考にしてください。ホーム画面の「よく見られているページ」⇒「資格認定制度」の順で進んでもらうと各項目にアクセスすることができます。

費用の助成を受けられる仕組みもあるため、興味のある方は覗いてみてください。



<https://www.nurse.or.jp/nursing/qualification/>

担当：人材育成Aチーム

